

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧<福祉創造学科>

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
基礎ゼミナールⅢ (福A)	2	特別養護老人ホーム等で介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
基礎ゼミナールⅢ (福C)	2	社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）、生活支援コーディネーターとして業務に従事した経験が5年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
基礎ゼミナールⅢ (福E)	2	保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして指導する。
基礎ゼミナールⅣ (福B)	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した地域との協働を実践する授業を行う。
基礎ゼミナールⅣ (福C)	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
基礎ゼミナールⅣ (福D)	2	・保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして指導する。
基礎ゼミナールⅣ (福F)	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験に加えて、経済団体や企業で、8年間広報や会議運営・企画業務に従事した。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働の実践を行っている。 その実務経験を通して、現場での協働の実践を授業でも紹介する。
社会学	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、社会学に関連する知識や視点等についての授業を行う。
経済学	2	NPOや一般企業での勤務経験、また現在、市民セクターと企業セクターの協働の実践の構築の経験が10年ある。それらの実務経験を活かして、社会福祉の学びが一般企業においてどのように生かされるのかを実践の紹介を交えて講義をおこなう。
日本史と世界	2	国公立小学校教諭（21年）、大阪府教育センター社会科担当指導主事（6年）を経験した。
保健体育 (B)	2	小学校（小中一貫校も含む）で教諭、教頭、校長（29年間）として、小学校教育に関わった経験があり、学校や子どもたちの実態を踏まえた具体的授業を展開する。
体育実技 (D)	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技 (E)	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
体育実技 (F)	1	石川：高等専門学校教員（4年半）、西里：高校・大学トレーナー（10年）
オーラルコミュニケーション	2	兵庫県内の公立と私立の中学校・中等教育学校・高等学校において、教諭および主幹教諭として通算40年以上業務に従事した経験がある。この授業では、その実務経験を活かして、実践的な英語力を修得するための授業を行う。
総合教養	2	（福祉栄養学科 伯井朋子）保健所や健康増進施設等で30年公衆栄養業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして「栄養と健康」についての授業を行う。 （リハビリテーション学科 重森健太）地域理学療法分野で25年。
キャリア開発 (福)	1	医療機関及び障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として14年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、福祉施設・機関でのキャリアデザインについて授業を行う（松山）。 国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験に加えて、経済団体や企業で、8年間広報や会議運営・企画業務に従事した。その実務経験を活かして非営利団体や民間でのキャリアデザインについても授業を行う（寶田）。
発達心理学 (福)	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
社会福祉入門Ⅰ	2	青柳 佳子：特別養護老人ホームで介護福祉職として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして高齢者福祉についての授業を行う。 松山 剛：精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として14年実務に携わった経験を活かして授業を行う。 中島 裕：病院においてソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）として業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして社会福祉に関する講義を行う。 荷出 翠：小・中学校においてスクールソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年あり、その実務経験を活かして授業を行う。 一村 小百合：青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した地域との協働実践を活かした授業を行う。 都村 尚子：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいてSW（在宅部門ディレクター）として業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。 末満 颯人：社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）、生活支援コーディネーターとして業務に従事した経験が5年あり、その実務経験を活かして授業を行う。 戸石 輝：医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。 南 多恵子：民間ボランティアセンターで10年、社会福祉法人本部で2年間、ソーシャルワーカーとして勤務した経験を生かして授業を行う。
社会福祉入門Ⅱ	2	・高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、高齢社会における支援とサービスの概要を理解するための授業を行う（三田村）。 ・特別養護老人ホームで介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして福祉用具等についての授業を行う（青柳）。 ・社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）、生活支援コーディネーターとして業務に従事した経験が5年あり、その実務経験を活かして授業を行う（末満）。 ・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして10年以上業務に携わっており、その実務経験を活かして授業・演習を行う（遠藤）。 ・青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年に、また子育て支援の現場でレクリエーション指導を行うなど14年間従事した実務経験から、子どもの理解とレクリエーション活動の具体的な実践方法についての授業を行う（一村）。 2・医療機関及び障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として14年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、障害者福祉を理解するための授業を行う（松山）。 ・国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働の実践を行っている。その実務経験を通して、現場での協働の実践を授業で紹介する（寛田）。 ・自治体における都市計画審議会や高齢者および障害者施設整備に関する審査会等の業務に従事した経験（10年以上）を活かして、居住環境をめぐる考え方や具体的な法制度や施策について授業を行う（成清）。 ・医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う（戸石）。 ・総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験を活かして、専門職として老いをどう解釈し、どう向き合うのかについて考える授業を行う（清水）。
介護概論Ⅰ（介護）	2	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、介護福祉士の役割・機能や倫理を理解するための授業を行う。
介護概論Ⅱ（介護）	2	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、介護現場で求められる自立に向けた介護、介護におけるリハビリテーション、介護予防について理解するための授業を行う。
貧困に対する支援	2	実務経験あり…担当教員は、身体障害者療護施設において3年間生活支援員として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（福祉A）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして10年以上業務に携わっており、その実務経験を活かして授業・演習を行う。
ソーシャルワーク演習（福祉B）	2	奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う
ソーシャルワーク演習（福祉C）	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（福祉D）	2	学校や医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年以上あり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（福祉E）	2	京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（福祉A）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして10年以上事業に携わっており、その実務経験を活かして授業・演習を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（福祉B）	2	奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（福祉C）	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（福祉D）	2	学校や医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年以上あり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（福祉E）	2	京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（福祉A）	4	福祉施設、機関での現場経験、また福祉関連分野等での実践経験がある教員が指導を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（福祉B）	4	奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（福祉C）	4	自治体における福祉施設整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定を行う委員会での業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（福祉D）	4	福祉施設、機関での現場経験、また福祉関連分野等での実践経験がある教員が指導を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（福祉E）	4	京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（福祉A）	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動やグループワーク実践に14年間従事した実務経験から集団活動を通した利用者理解や対人支援の実践について考える授業を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（福祉C）	2	・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田直樹）
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（福祉D）	2	・医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（福祉F）	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験があり、その実務経験を活かしたソーシャルワーク実践を授業で展開する。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（福祉G）	2	京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
精神障害リハビリテーション論	2	精神科病院において10年間、また障害者就労支援施設において4年間支援に携わっていた経験がある。その実務経験を生かして精神障害者のリハビリテーション技法について授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ（精神）	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、精神保健福祉におけるソーシャルワーク実践に関連する理論と方法について授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ（精神）	2	木村志保：精神科医療機関、NPO法人、障害福祉サービス事業所等で精神保健福祉士として業務に従事した経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（精神）（福祉）	2	精神科医療機関、障害福祉サービス事業所等で精神保健福祉士として14年業務に従事した経験を活かして実習指導を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ（精神）（福祉）	2	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として14年実務に携わった経験を活かして、実習指導を行う。
社会福祉法制論	2	松山剛：精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所において、精神保健福祉士として14年従事した経験があり、その経験を活かして、精神障害者を取り巻く各種法制度についての授業を行う。 南多恵子：民間ボランティアセンターに10年、社会福祉法人法人本部に2年、ソーシャルワーカーとして勤務した経験を活かして授業を行う。 中島裕：保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして各種法制度に関する講義を行う。
国際社会福祉論Ⅱ	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験に加えて、経済団体や企業で、8年間広報や会議運営・企画業務に従事した。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働の実践を行っている。その実務経験を通して、現場での協働の実践を授業でも紹介する。
刑事司法と福祉	2	実務経験あり…担当教員は、身体障害者療護施設において生活支援員として3年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、上記の授業を行う。
レクリエーション論	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年に、また子育て支援の現場でレクリエーション指導を行うなど14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な法人の事業に携わっている実務経験を通して、対象に応じたレクリエーション活動について必要な技術や具体的な実践方法についての授業を行う。
ボランティア活動論	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
保健医療と福祉	2	保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして医療ソーシャルワークに関する講義を行う。
人間の尊厳と自立	2	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、支援する際の基礎である人間の尊厳と自立に関する視点を修得するための授業を行う。
人間関係とコミュニケーションⅠ	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障がい児と野外活動を行ったりグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な法人の事業に携わっている実務経験から、利用者や家族を含め対人支援を行う上で重要となるコミュニケーションの知識や技術について授業で行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
人間関係とコミュニケーションⅡ（介護）	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的实践を行っている。その実務経験を通して、現場での協働的实践を授業でも紹介する。
介護の基本（暮らしと支援）（介護）	2	・実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、介護現場で求められる介護を必要とする人やその家族の暮らしの捉え方について理解するための授業を行う。
介護の基本（支援のしくみ）（介護）	2	「実務経験」 ・高齢者施設、居宅サービスにおける介護支援専門員、介護職員として16年業務を経験した。 ・実務経験を活かし、介護福祉の専門職として必要な介護の基本の知識、個別援助の実践について授業を展開する。
介護の基本（労働環境）（介護）	2	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、介護福祉現場で必要な労働環境の管理の視点を修得するための授業を行う。
介護の基本（リスクマネジメント）（介護）	2	各教員の実務経験については以下である。 丹葉：34年 藤井：35年
コミュニケーション技術（介護）	1	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、介護現場における利用者・家族とのコミュニケーションを修得するための授業を行う。
生活支援技術（基礎）（介護）	2	特別養護老人ホーム等で介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして生活支援技術に関する知識、支援方法についての授業を行う。
生活支援技術（家事）（介護）	1	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、要介護者への家事支援を修得するための授業を行う。
生活支援技術（環境整備）（介護）（2023年度以前入学生用）	1	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、要介護者の居住環境整備に関する支援を行うための授業を行う。
生活支援技術（環境整備）（介護）（2024年度以降入学生用）	1	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、要介護者の居住環境整備に関する支援を行うための授業を行う。
生活支援技術（アクティビティ）（介護）	1	特別養護老人ホーム、通所介護（デイサービス）、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスにおいて通算15年間、音楽療法士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして音楽療法についての授業を行う。
生活支援技術（調理）（介護）（2024年度以降入学生用）	1	病院及びクリニックにおいて管理栄養士として業務に従事した経験（32年）があり、その実務経験を活かして、高齢者・要介護者への食事支援を習得するための授業を行う
生活支援技術（移動）（介護）（2024年度以降入学生用）	1	特別養護老人ホーム・ケアハウス・養護老人ホームにおいて介護福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして生活支援技術やICFについての授業を行う。
生活支援技術（応用Ⅰ）（介護）	1	特別養護老人ホーム等で12年間介護福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護に関する知識、支援方法についての授業を行う。
生活支援技術（応用Ⅱ）（介護）	1	特別養護老人ホーム等で12年間介護福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして生活支援技術についての授業を行う。
生活支援技術（エンドオブライフ）（介護）（2023年度以前入学生用）	1	特別養護老人ホーム等において、介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして終末期ケアに関する授業を行う。
生活支援技術（エンドオブライフ）（介護）（2024年度以降入学生用）	1	介護事業所などで介護福祉士として18年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして人生の最終段階における介護に関する知識、支援方法についての授業を行う。
介護過程Ⅰ（介護）	2	特別養護老人ホームで介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護過程に関する知識、展開の方法についての授業を行う。
介護過程Ⅱ（介護）	1	特別養護老人ホーム等で介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護過程に関する知識、展開方法についての授業を行う。
介護過程Ⅲ（介護）（2024年度以降入学生用）	2	特別養護老人ホーム等で介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護過程に関する授業を行う。
介護過程Ⅳ（介護）	1	「実務経験」 ・高齢者施設、居宅サービスにおける介護支援専門員、介護職員として16年業務を経験した。 ・実務経験を活かし、介護福祉の専門職として必要な介護の基本の知識、個別援助の実践について授業を展開する。
介護総合演習Ⅰ（介護）	1	・特別養護老人ホーム等で12年間介護福祉士として業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅰの事前学習についての授業を行う（青柳）。 ・高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅰの事前学習についての授業を行う（三田村）。 ・総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅰの事前学習についての授業を行う（清水）。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
介護総合演習Ⅱ（介護）	1	高齢者施設において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（青柳） 総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（清水） 高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（三田村）
介護総合演習Ⅲ（介護）	1	高齢者施設において介護福祉職として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（青柳） 総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（清水） 高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習の振り返り、事前学習に関する授業を行う。（三田村）
介護総合演習Ⅳ（介護） （2024年度以降入学生用）	1	実務経験あり： 高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、実習現場での知識、技術、記録等に関して事前準備・事後指導における授業を行う。（三田村） 高齢者施設において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし、実習現場での知識、技術、記録等に関して事前準備・事後指導における授業を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、実習現場での知識、技術、記録等に関して事前準備・事後指導における授業を行う（清水）
認知症の理解Ⅰ（介護）	2	総合病院、高齢者施設において看護師として業務に従事した経験が12年間あり、その実務経験を活かして認知症の医学的知識、支援方法についての授業を行う。
認知症の理解Ⅱ（介護）	2	実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、認知症の人とその家族に対する支援体制と視点を修得するための授業を行う。
障害の理解Ⅰ（介護）	2	医療機関、障害福祉サービス事業所に於いて相談業務に従事した経験が14年あり、その実務経験を活かして障害のある方の実際の生活の現状や思い、それに対する支援者の在り方や感じる限界についても授業で取り扱う。
障害の理解Ⅱ（介護）	2	総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして障害の特性や支援方法の知識、技術についての授業を行う。
こころとからだのしくみⅠ	2	総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かしてこころとからだのしくみの知識、技術について授業を行う。
こころとからだのしくみⅡ（介護）	2	総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かしてこころとからだのしくみの知識、技術について授業を行う。
医療的ケアⅠ（介護）	2	総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして吸引や経管栄養の知識、技術についての授業を行う。
医療的ケアⅡ（介護）（2024年度以降入学生用）	2	総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして吸引や経管栄養の知識、技術についての授業を行う。
医療的ケアⅣ（介護）（2023年度以前入学生用）	1	総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして吸引や経管栄養の知識、技術についての授業を行う。（清水）
医療的ケアⅣ（介護）（2024年度以降入学生用）	1	・総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして吸引や経管栄養の知識、技術についての授業を行う。
発達と老化の理解（介護）	2	介護事業所などにおいて介護福祉士として18年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かし発達と老化に関する知識、支援方法についての授業を行う。
インクルーシブな発達心理学	2	担当教員（櫻井）は、大阪大学付属病院精神神経科、三国ヶ丘病院、大阪府池田保健所箕面支所、大阪府門真市福祉事務所、子供心身医療研究所、奈良県中央・高田児童相談所および奈良県心身障害者リハビリテーションセンターにて、臨床心理士および心理判定員として臨床心理業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、人間の発達過程における心理学的障害、とりわけ、集団適応が困難な自閉スペクトラム症、特異的発達症、注意欠如／多動症等の臨床的特徴、研究史及びその社会的・認知的・行動的・情緒的障害に対するアプローチについて、現状での問題点を様々な最近の研究から明らかにし、より統合的アプローチについて可能な限り具体的な事例を取り上げて論じる授業を行う。 担当教員（荒木）は、大阪府心理職として、児童心理司、児童自立支援施設心理士・施設長、身体障害者入所施設施設長として臨床現場での心理支援を担当したほか、大阪府庁福祉部において障害福祉、高齢者福祉、児童福祉の各種施策の担当者として福祉行政に携わる（合計31年間）。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
福祉コミュニケーション論	2	財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。（都村尚子） 国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的実践を行っている。その実務経験を通して、授業を行う。（賈田玲子） 青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして児童や障害児（発達障害児）のキャンプなどを中心に事業に携わっている実務経験があり、それを活かして授業を行う。（一村小百合） 病院においてソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして実践現場のコミュニケーションに関する授業を行う。（中島裕） 医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。（戸石輝）
居住福祉	2	自治体における都市計画審議会、高齢者および障害者施設整備や市営住宅指定管理業務に関する審査や選定のための委員会、都市計画マスタープランの策定等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、居住環境の整備や居住の確保と支援に関する制度やサービスについての授業を行う。
ビジネス基礎	2	社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）、生活支援コーディネーターとして5年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
社会起業論	2	社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）、生活支援コーディネーターとして業務に従事した経験が5年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
精神保健福祉の原理Ⅱ	2	医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年実務に従事した経験を活かし、精神障害者の生活実態及び、精神保健福祉士の資格化の経緯、精神保健福祉の原理についての授業を行う。
精神保健福祉制度論	2	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所に於て相談援助業務に従事した経験が14年があり、その実務経験を活かして各テーマにおける精神保健福祉士の役割や、実践の中で感じるジレンマについての授業を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ（精神）（福祉）	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。その実務経験を通して、精神保健福祉領域でのソーシャルワーク実践について授業で展開する。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ（精神）（福祉）	2	精神科医療機関、障害福祉サービス事業所等で精神保健福祉士として14年業務に従事した経験を活かして演習を行う。
ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ（精神）（福祉）	2	精神科医療機関、障害福祉サービス事業所等で精神保健福祉士として14年業務に従事した経験を活かして演習を行う。
社会福祉学研究	2	・保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かしてソーシャルワークに関する講義を行う（中島裕）。 ・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして10年以上業務に携わっており、その実務経験を活かして授業・演習を行う（遠藤和佳子）。 ・青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年に、また子育て支援の現場でレクリエーション指導を行うなど14年間従事した実務経験から、レクリエーション活動が生活に及ぼす影響などをふまえ、具体的な実践方法についての授業を行う（一村小百合）。 ・国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的実践を行っている。その実務経験を通して、現場での協働的実践を授業で紹介する（賈田玲子）。 ・自治体における福祉施設整備や市営住宅指定管理のための審査や選定を行う委員会での業務に従事した経験（10年以上）を活かして、居住の確保と支援に関する制度や取り組みを盛り込んだ授業を行う（成清敦子）。 ・ボランティアセンターで10年間、社会福祉法人法本部で2年間、ソーシャルワーカーとして勤務した経験を生かして授業を行う（南多恵子）。 ・財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う（都村尚子）。 ・特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年間働いた経験と、介護福祉士養成校において3年間留学生教育に携わった経験をもとに授業を行う（青柳佳子）。 ・精神科病院及び障害福祉サービス事業所等において精神保健福祉士として14年間従事した経験があり、その実務経験を活かした授業を行う（松山剛）。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉A）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして講義・グループワークを行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉B）	2	・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護と個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田直樹）
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉C）	2	・自治体における福祉施設整備のための審査や福祉サービス事業者選定のための委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉D）	2	学校や医療機関でソーシャルワーカーとして、10年以上業務に従事した経験を活かし授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉E）	2	民間ボランティアセンターで10年、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人本部で2年、ソーシャルワーカーとして勤務した経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（福祉F）	2	・京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉A)	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして講義・グループワークを行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉B)	2	・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田直樹）
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉C)	2	・自治体における福祉施設整備のための審査や福祉サービス事業者選定のための委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして授業を行う（成清 敦子）
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉D)	2	学校や医療機関でソーシャルワーカーとして、10年以上業務に従事した経験を活かし授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉E)	2	民間ボランティアセンターで10年、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人本部で2年、ソーシャルワーカーとして勤務した経験を活かし授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ (福祉F)	2	京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (福祉A)	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動やグループワーク実践に14年間従事した実務経験から集団活動を通した利用者理解や対人支援の実践について考える授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (福祉C)	2	・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田直樹）
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (福祉D)	2	・医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (福祉F)	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験があり、その実務経験を活かしたソーシャルワーク実践を授業で展開する。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ (福祉G)	2	・京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
福祉マインド論	2	実務経験あり（都村尚子）：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
スクールソーシャルワーク論	2	学校や医療機関のソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年以上あり、これを活かした授業を行う。
研究演習Ⅰ（福祉B）	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した地域との協働を実践する授業を行う。
研究演習Ⅰ（福祉C）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。
研究演習Ⅰ（福祉E）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
研究演習Ⅰ（福祉F）	2	・保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして指導する。
研究演習Ⅰ（福祉G）	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして社会福祉への導入やグループワークなどの授業を行う。
研究演習Ⅱ（福祉B）	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した地域との協働を実践する授業を行う。
研究演習Ⅱ（福祉C）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。
研究演習Ⅱ（福祉E）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
研究演習Ⅱ（福祉F）	2	保健医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に12年間従事した経験があり、その実務経験を活かして指導する。
研究演習Ⅱ（福祉G）	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして社会福祉への導入やグループワークなどの授業を行う。
研究演習Ⅲ（福祉A）	2	幼児から青少年、障がい児の野外活動やグループワークの実践場面を取りまとめる業務に従事した経験があり、その実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方について考える授業を行う。
研究演習Ⅲ（福祉B）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。
研究演習Ⅲ（福祉C）	2	・障害児・者支援施設において、7年間ソーシャルワーカーとして従事していた経験があり、その実務経験を活かして、福祉現場の実践に応じた授業を展開する。
研究演習Ⅲ（福祉F）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
研究演習Ⅲ（福祉G）	2	医療ソーシャルワーカーとしての12年間の実務経験を活かして指導する。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
研究演習Ⅲ（福I）	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験に加えて、経済団体や企業で、8年間広報や会議運営・企画業務に従事した。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的实践を行っている。 その実務経験を通して、現場での協働的实践を授業でも紹介する。
研究演習Ⅲ（福J）	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
研究演習Ⅳ（福A）	2	幼児から青少年、障がい児の野外活動やグループワークの実践場面を取りまとめる業務に従事した経験があり、その実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方について考える授業を行う。
研究演習Ⅳ（福B）	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。
研究演習Ⅳ（福C）	2	・障害児・者支援施設において、7年間ソーシャルワーカーとして従事していた経験があり、その実務経験を活かして、福祉現場の実践に応じた授業を展開する。
研究演習Ⅳ（福F）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして授業を行う。
研究演習Ⅳ（福G）	2	医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を活かして指導する。
研究演習Ⅳ（福I）	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験に加えて、経済団体や企業で、8年間広報や会議運営・企画業務に従事した。また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的实践を行っている。 その実務経験を通して、現場での協働的实践を授業でも紹介する。
研究演習Ⅳ（福J）	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	医療機関で社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省で相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
社会保障Ⅰ	2	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	2	ボランティアセンターにて10年、社会福祉法人本部にて2年、ソーシャルワーカーとして業務に従事した経験があり、その実務経験を生かして授業を行う。
児童・家庭福祉	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う。
子ども・家庭ソーシャルワーク	2	・学校や医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に従事した経験（10年以上）を活かし、子どもや家庭の支援について講義を行う（荷出）。 ・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして、10年以上事業に携わっている。その実務経験を活かして様々な課題を抱える子どもや家庭の支援について授業・演習を行う（遠藤）。
高齢者福祉（福祉）（介護）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいて在宅部門ディレクターとしてSW業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして権利擁護やそれにまつわる法制度についての授業を行う。
高齢期のニーズとケア（福祉）（介護）	2	介護福祉士養成課程における指導経験（2年間）や、自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして授業を行います。
現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	2	精神科病院、精神科デイケア、就労支援事業所でソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として入退院支援、外来相談、地域生活支援、就労支援・定着支援を20年余り経験。
多様化する家族の心理学	2	講義担当者は、1年半の児童相談所での勤務、更には14年間の家庭裁判所等の司法機関での勤務歴があり、実践に即した授業を展開する。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	自治体における福祉施設の整備に関する審査や福祉サービス事業者の選定に関する委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして、福祉の現場で求められるソーシャルワーカーの価値や倫理、専門的な視点や方法についての授業を行います。
ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動などのグループワーク実践に14年間従事し、現在もスーパーバイザーとして様々な事業に携わっている実務経験から集団の特性や集団力学を活用した個々の能力の引き出し方や対人援助について考える授業を行う。
ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅰ	2	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験あり。 また、現在は日本で暮らす海外にルーツをもつ人びとのコミュニティにおいて10年間協働的实践を行っている。 その実務経験を通して、ソーシャルワークの実践理論およびアプローチ等について授業で展開する。
権利擁護を支える法制度（福）	2	実務経験あり：財団法人のボランティアコーディネーターとして、さらに特別養護老人ホームにおいてSW（在宅部門ディレクター）として業務に従事した経験が計14年あり、その実務経験を活かして権利擁護やそれにまつわる法制度についての授業を行う。
災害支援論	2	山本訓子：養護教諭として20年教育に携わった経験があり、それを活かした授業を行う。 重森健太：地域理学療法分野での臨床経験が25年あり、これを活かした授業展開を行う。
家庭支援論	2	学校や医療機関においてソーシャルワーカーとして業務に従事した経験（10年以上）を活かし、家庭の支援について講義を行う。

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
多文化と共生	1	担当者（永井）は医療施設・福祉施設等において作業療法士および部門管理者として30年以上業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。 担当者（内海）は学校現場において栄養教諭として業務に13年間従事した経験があり、その実務経験を活かして本講義を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ（精神）（福祉）	1	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年実務に従事した経験を活かして、実習指導を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（精神）（福祉）	1	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年実務に従事した経験を活かして、実習指導を行う。
介護総合演習Ⅴ（介護）（2023年度以前入学生用）	1	・実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、実習を通した自己の振り返りを行い、介護福祉士としての基盤づくりをするための授業を行う。
介護総合演習Ⅴ（介護）（2024年度以降入学生用）	1	・実務経験あり：高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、実習を通した自己の振り返りを行い、介護福祉士としての基盤づくりをするための授業を行う。
医療的ケアⅢ（介護）（2024年度以降入学生用）	1	総合病院などにおいて看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして喀痰吸引や経管栄養の知識、技術についての授業を行う。
介護福祉特殊講義（介護）	1	高齢者施設で介護福祉士として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして領域「介護」の科目に関する授業を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして領域「こころとからだのしくみ」の科目に関する授業を行う。（清水） 高齢者施設で介護福祉士として10年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして領域「人間と社会」の科目に関する授業を行う。（三田村）
社会福祉特殊講義（社・精）	1	荷出翠：学校や医療機関のソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年以上あり、これを活かした授業を行う。 戸石輝：医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚労省において相談支援官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。 南多恵子：民間ボランティアセンターで10年、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人本部で2年勤務した経験を生かして授業を行う。 松山剛：医療機関や障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として業務に従事した経験が14年あり、その経験を活かした授業を行う。
精神保健福祉特殊講義（社・精）	1	荷出翠：学校や医療機関のソーシャルワーカーとして業務に従事した経験が10年以上あり、これを活かした授業を行う。 戸石輝：医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚労省において相談支援官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。 南多恵子：民間ボランティアセンターで10年、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人本部で2年勤務した経験を生かして授業を行う。 松山剛：医療機関や障害福祉サービス事業所において精神保健福祉士として業務に従事した経験が14年あり、その経験を活かした授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（福祉A）	1	青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動やグループワーク実践に14年間従事した実務経験から集団活動を通した利用者理解や対人支援の実践について考える授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（福祉C）	1	・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田 直樹）
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（福祉D）	1	医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（福祉F）	1	国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験があり、その実務経験を活かしたソーシャルワーク実践を授業で展開する。
ソーシャルワーク実習指導Ⅳ（福祉G）	1	・京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う
障害者の生活支援	1	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして、障害者の生活支援についての授業を行う。
ソーシャルワーク実習（精神）（福祉）	5	精神科医療機関及び障害福祉サービス事業所にて精神保健福祉士として14年実務に携わった経験を活かし、実習における教育指導を行う。
介護実習Ⅰ（介護）	1	高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（三田村） 特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（清水）
介護実習Ⅱ（介護）（2024年度以降入学生用）	2	高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅱに関する施設での実習指導を行う。（三田村） 特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅱに関する施設での実習指導を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅱに関する施設での実習指導を行う。（清水）

科目	単位数	実務経験のある教員による授業科目
介護実習Ⅲ（介護）（2024年度以降入学生用）	3	高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅲに関する施設での実習指導を行う。（三田村） 特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅲに関する施設での実習指導を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習Ⅲに関する施設での実習指導を行う。（清水）
介護実習Ⅳ（介護）（2023年度以前入学生用）	5	高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（三田村） 特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（清水）
介護実習Ⅳ（介護）（2024年度以降入学生用）	5	高齢者施設において介護福祉士として10年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（三田村） 特別養護老人ホーム等において介護福祉士として12年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（青柳） 総合病院、高齢者施設において看護師として12年間業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして介護実習に関する施設での実習指導を行う。（清水）
ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	・自治体委託の子育て支援事業において子育て支援コーディネーター及びFAとして10年以上業務に従事しており、その経験を活かして授業を行う（遠藤 和佳子） ・自治体における福祉施設整備のための審査や福祉サービス事業者選定のための委員会等の業務に従事した経験（10年以上）も活かして授業を行う（成清 敦子） ・民間ボランティアセンターで10年、高齢者福祉施設を運営する社会福祉法人本部で2年勤務した経験を生かして授業を行う（南 多恵子） ・学校や医療機関でソーシャルワーカーとして、10年以上業務に従事した経験を活かし授業を行う（荷出 翠） ・京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う（李スンミン） ・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田直樹）
ソーシャルワーク実習Ⅱ	4	・青少年の公益財団法人で専門職員として幼児から青少年、障害児の野外活動やグループワーク実践に14年間従事した実務経験から集団活動を通じた利用者理解や対人支援の実践について考える授業を行う（一村 小百合） ・国内外の大学の学生相談室や留学生センターでソーシャルワーカーとして5年間従事した経験があり、その実務経験を活かしたソーシャルワーク実践を授業で展開する（寶田 玲子） ・医療機関において社会福祉士・精神保健福祉士として13年、厚生労働省において相談支援専門官として2年業務に従事した経験があり、その実務経験を活かして授業を行う（戸石 輝） ・京都市内の高齢者施設にて11年間介護職員として従事した経験を活かし授業を行う（李 スンミン） ・奈良県内で法人後見支援員として2年後見業務に従事しており、その経験を活かし実習で関わる利用者の権利擁護や個人情報保護の重要性について授業を行う（竹田 直樹）

計 353